

安心 誰もが健やかに暮らせる安心と安全のまちづくり

(1) 誰もが安心して暮らせる地域社会の構築

②すべての子どもと子育て家庭を地域全体で支える

現状と課題



- ◆出生数の低下や家族類型が多様化しており、多彩なニーズに応じた子育て支援サービスのさらなる充実が求められています。
- ◆女性の就労率の増加や幼児教育・保育の無償化に伴い、保育所等の利用意向も高まっており、早期の待機児童解消が課題となっています。また、子育てと仕事を両立できる環境づくりを一層推進していくことが必要です。
- ◆安心して子どもを産み育てられる支援の一つとして、子育てに係る経済的負担の軽減が求められています。
- ◆出産や育児に対する不安やストレスは、児童虐待※1のリスクにつながる恐れもあるため、妊産婦が気軽に相談しやすい環境整備や産後ケア事業の推進が必要です。
- ◆地域のつながりが希薄になり、孤立する子育て家庭が増加する中で、子どもの貧困や児童虐待等が深刻な問題となっており、支援を必要とする家庭への対策の強化が求められています。
- ◆住民ニーズが多様化しており、児童館の運営や児童遊園地の維持管理についても、適切な対応が求められています。

施策の方針

安心して出産・子育てができる切れ目のない支援と環境を充実させ、次代を担うすべての子どもが健やかに成長できるまちづくりに、地域全体で取り組みます。さらに、増加・多様化する教育・保育ニーズに対応するため、幼稚園・保育所の運営体制および施設整備に取り組みます。

また、児童遊園地の施設について、引き続き、定期的な点検および修繕を行い、公園利用者が安全に利用できるよう維持管理に努めます。



育児相談

※1 児童虐待…子どもの心や体を傷つけ、健全な成長や人格の形成に重大な影響を与える行為のことで、身体的虐待、心理的虐待（言葉のおどしや無視）、ネグレクト（養育・保護の怠慢、拒否）、性的虐待に分類される。